

# お手入れ 方法 錆編

お客様から「錆のお手入れ方法、錆の落とし方について教えて下さい!」  
とお声を頂きましたので、当社のお手入れ方法を紹介させて頂きます。  
錆の天敵は、湿気・塩・油(手油、永年付着した劣化した油による酸化)です。錆の手  
入れについては様々な方法がありますが、弊社がおすすめするお手入れ方法は  
**「木綿の布・柔らかい布で優しく磨く」**ことです。

現代では室温や湿度の調整ができますが、昔の人は梅雨の湿気をうまく利用し、お手  
入れしていたそうです。雨季の期間になると、保管している錆を箱から取り出します。  
梅雨が終わる頃には錆に、油や湿気が浮き、木綿の布で磨きます。

次の日には、新たな錆などが出てきます。それをまた再び磨いていく…錆が出なくなるまでこの作業を続け、  
およそ夏が終わる頃まで、毎日繰り返しお手入れをし、害虫や湿気から守る、通気性のよい桐箱に入れて保管  
していました。ですが、中々落ちにくいのが**「赤錆」**です。

## (赤錆の落とし方)

### ●用意するもの●

- ・木綿の布
- ・柔らかい歯ブラシ
- ・鹿の角や楊枝

1. 布で磨く
2. 錆の部分に鹿の角を擦りつけると、錆が出てきます。  
毛彫など細かいところへは、爪楊枝で汚れを取り除きます。
3. 歯ブラシで優しく磨きます。
4. 再び布で磨きます。
5. 天気が良い日に、錆を天日干します。



基本的にはこれで手入れは完了ですが、赤錆はまた出てきます。この作業を根気よく続けて、  
時間かけていけば、柔らかい鉄味になります。他に、油を塗る手入れ方法もありますが、  
錆本来の艶やかさが失われる可能性がありますのであまりお勧めはしていません。  
ですが、あまりにもひどい赤錆には丁子油を薄く塗り、布で磨いていきます。  
大切に愛され、保管されていた錆は一目で分かるほど、柔らかく綺麗な鉄味をしています。  
数か月に一度磨くだけでも、趣がある錆へと変化していくと思います。  
ぜひ、梅雨の湿気を利用してお手入れをしては如何でしょうか?

## 届けました!!

### お年玉 プレゼント

『光隆丸』様

ご当選おめでとうございます!!お写真、誠にありがとうございます。  
是非キャンプでご活用下さい(\*^\_\_^\*) 今後共、どうぞよろしくお願い致します。

本日、プレゼントの  
アウトドアチェアが届きました。  
この度はありがとうございました。  
キャンプに持って行きたいと  
思います。

お年玉  
プレゼント

最新情報は  
こちらから

ホームページ <https://daimyou.com/>

件名:ニュースレター返信  
と入力して送信して下さい。

QRコード

有限会社 大名

TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937

# 届けますっ! 大和魂

2022年6月  
Vol.48

## 経営理念

有限会社大名は「届けますっ!大和魂」を合言葉に  
日本の歴史、古美術を発信し、貴方(お客様)の  
趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します

こんにちは。中堀明美です。梅雨の季節になりましたね。皆様、いかがお過ごしでしょうか?  
ジメジメした毎日、洗濯物が乾かなくて困りますが、穀物などが育つ恵みの雨でもございます。  
そして雨をしのぐ道具といえば傘ですが、昔はどんな雨具があったのでしょうか?

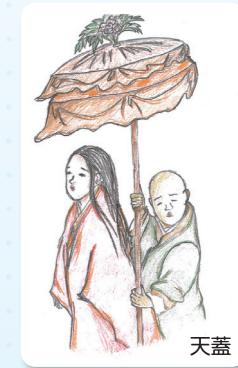


## ~梅雨と呼ばれるようになったのは~

中国では、徽の生えやすい時期の雨という意味で「徽雨」と初めは呼ばれていましたが、  
梅の熟す時期でもあったことから、のちに「梅雨」と呼ばれるようになりました。  
日本では、江戸時代から梅雨と呼ばれるようになりました。『露』から来ているそうです。因みに  
「五月雨」という言葉もありますが、旧暦5月は現在の6月にあたりますので、梅雨を表します。

## 「笠」から「傘」へ

雨や雪、さらには暑い日ざしをよける道具として大活躍だったのが「笠」です。  
手に持つ「傘」は古墳時代に中国から伝来したといわれています。貴人にさしかかる天蓋として使われていましたが時代とともに改良が重ねられ、室町時代には和紙に防水用の油を塗った「傘」が使用されるようになりました。江戸中期頃になると「笠」に代わって手に持つ「傘」が庶民の間にも普及していきました。実用品として広く普及しただけでなく、お祭り用の傘や歌舞伎の小道具などとしても大活躍していました。



## 蓑 (みの)

素材である藁は撥水性があるうえ、雨粒があたっても纖維に沿って流れ落ちるため内部には水が染み込まないという優れものです。ですが、かさばる上に、燃えやすい材質の為、火気は厳禁という弱点もありました。



## 合羽 (かっぱ)

マントのような形をしている合羽です。戦国時代、南蛮人から伝来したマントは、羅紗など高級素材が使われ、織田信長や豊臣秀吉といった武将に珍重されました。江戸時代になると和紙に油を塗り防水加工を施した「紙合羽」が登場し、安い・軽い・便利と三拍子そろっていることからあつという間に庶民にも広まりました。合羽は現代でも使用されていますよね!



まさか戦国時代から合羽があったなんて驚きました。  
今と昔では形は違いますが、日々進化しながらも実用的なものは残されているのだと感じました。



こんにちは、島谷貴子です。今号では、室町後期以降の兜について語らせて頂きます。

大量生産???



室町時代後期、「応仁の乱」<sup>①</sup>が起こり、室町幕府が弱体化していき、全国各地では戦乱が激しくなっていきました。その後、自らの力で自国を作る戦国大名が誕生していき、更に戦乱の世となっていきました。集団・団体戦で必要な大量の兵員に合わせた甲冑・兜が製作され、合理的かつ簡略化された製法を余儀なくされていました。

理由として、簡単な作りで、大量生産可能 部品が少なく、低コストだった 表面が平らで球面の為、防御率が高い  
とっぽいなりかぶと すなりかぶと  
為、「突盔形兜」<sup>②</sup>「頭形兜」が、流行してきました。

※① 八代將軍・足利義政の後継者争いが原因で起きた争い  
※② 頭盔・鳥盔・突貝・突背・兜盔の文字も使われている

### 突盔形兜

天辺が尖った兜のこと



一枚の鉄板の端を巻き合  
わせて留めた鉢  
上級武士の鉢は黒漆塗  
総覆輪で二枚鉄打出し

### 戦国武将が甲冑製作???

ひねのびっちゅのかみひろなり ほそかわえっちゅうのかみただおき  
日根野備中守弘就と細川越中守忠興

は、武将にも関わらず、甲冑師との関係も緊密で、自ら製作にも打ち込んでいたそう  
です。兜の特徴を捉え、古頭形を改良し、野戦での実用性を兼ね備えたものを  
完成させたのが、「日根野頭形」「越中頭形」です。



人間の頭の形をしている兜のこと



「上板」と左右の「脇板」、  
幅広い「腰巻板」、正面の  
板の5枚を剥ぎ合わせた鉢

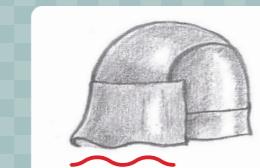
### 頭形兜の種類

古頭形 日根野備中守弘就が考案  
(1518~1602年没)



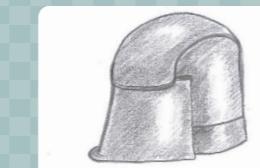
上板が上重ね眉庇 眉庇が滑らか  
曲線的な形状 天辺の穴あり

日根野  
頭形 日根野備中守弘就が考案  
(1518~1602年没)



上板が下重ね眉庇 天辺なし  
眉庇が滑らか 曲線的な形状

越中  
頭形 細川越中守忠興が考案  
(1563~1646年没)



上板が上重ね眉庇 天辺なし  
眉庇が滑らか 直線的な形状

筋兜は、鉄を贅沢に使い見た目も華やかですが、重量約2kgと長時間着用には適していません。反対に、頭形兜は重量約1kg前後で、長時間着用可能。見た目は華やかではありませんが、表面が平らで球面に近いので、刀や槍、薙刀、鉄砲の弾もそれやすい作りで、実践向き。鉄砲戦が主流だった為、防御力の高い頭形兜が流行していったのだと思いました。戦場にいた武将だからこそ出来た改良だったのだと思います。

その為、戦国時代には「日根野頭形」を原型とした、武将独自の装飾兜が流行してきました。徳川家康、真田信繁、井伊直政、立花宗茂、千利休が着用していた兜も変化した装飾兜です。次号では「桃形兜」、「鳥帽子形兜」を語らせて頂きます。



# ハナエモジのタイムスリップ!

今年は「～名人」に  
タイムスリップしていこうと思います。  
今号は海戦名人のこの方に  
ターゲットスリップ!

## 信長の家来に

あごぐん  
志摩国英虞郡(三重県志摩市)を拠点とする九鬼定隆の三男として生まれます。志摩国の中での争いの中、兄が戦死したことで甥を助けることになった嘉隆。1569年(27歳)、信長が北畠具教を攻めた時、水軍を率いて参戦し城を落とすなどの活躍をしたことで、信長の家来になりました。信長の後押しもあり、志摩国を手に入れます。信長から九鬼家の家督を継ぐように言われ九鬼の頭領となりました。

## 織田水軍として

1576年(34歳)、第一次木津川口の戦いで毛利水軍と織田水軍の海戦が起こりました。毛利水軍が使用する焙烙玉(陶器に火薬を入れて投げ込む手榴弾のようなもの)、火矢により、多くの船を失う敗北を喫します。この敗北から、木船の外面を薄い鉄板で覆った大安宅船を建造し、更には大鉄砲・大砲を搭載した軍船を完成させました。1578年(36歳)、第二次木津川口の戦いで、敵船を近くまで引き寄せ砲撃したこと、それ以後、毛利水軍が恐れて近づけなくなり退却させます。この軍功から嘉隆は三万五千石の大名に取り立てられます。

## 九鬼家の為に

信長の死後、秀吉に仕えた嘉隆。秀吉が亡くなり、関ヶ原の戦いが起ると嘉隆は九鬼家が残る為に自身は西軍に、息子:守隆は東軍に与しました。西軍が敗れると、守隆が徳川家康に父の助命を嘆願します。関ヶ原の功績の大きさから、受け入れてもらうことが出来ました。

しかし、九鬼家家臣:豊田五郎右衛門が九鬼家を想うが故に嘉隆に切腹を促し、嘉隆も受け入れ、切腹をしてしまいます。

(享年59歳)

くき よしたか  
1542-1600年